

# 大泉町議会報告会報告書

大泉町議会報告会実行委員会

# 大泉町議会報告会報告書

1. 開催目的 開かれた議会を実現するために、議会基本条例に基づき町民に対して議会報告会を行う。また、町民からの意見を聴取し、政策提言につなげるとともに、議員の資質向上を目的とする。
2. 開催日時 ①令和元年12月19日(木) PM6:30～8:15  
②令和元年12月23日(月) PM1:30～3:15
3. 開催場所 ①大泉町文化むら 大ホール棟 研修室  
②大泉町公民館 ホール・会議室
4. 名 称 大泉町議会報告会「議会と町民のつどい」
5. 実施組織 大泉町議会報告会実行委員会
6. 委員会開催日  
令和元年 7月11日(木)・7月31日(水)・8月29日(木)・9月27日(金)・10月15日(火)  
11月8日(金)・12月5日(木)・12月12日(木)・12月18日(水)  
12月19日(木)①報告会(大泉町文化むら 大ホール棟研修室)  
12月23日(月)②報告会(大泉町公民館 ホール・会議室)  
令和2年 1月21日(火)・3月19日(木)  

(計 13回)
7. 広報方法  
チラシPR  
ポスターPR  
議会だより 11月10日号掲載  
フレッシュおおいずみ 11月10日号掲載  
広報おおいずみ 12月10日号掲載  
FMラジオ放送 12月みみよりOIZUMI内で放送
8. 参加人数 ①12月19日(木) 21名  
②12月23日(月) 78名 (内 県立大泉高等学校生徒 37名)

## 9. 意見交換会の意見とまとめ

### (1) Aグループ テーマ「町民の安全について」

浅野正己(コーディネーター)、須田敏彦、都丸裕史、堀越幸広、中尾大助

◎12月19日(木) 参加者数 なし

◎12月23日(月) 参加者数 34名(内 大泉高校生 11名)

意見：児童通学路中にコンビニがあり、出入りの車が多く危険である。見守る青少年推進委員の地域の情報が欲しい

まとめ：防犯パトロールは、青少年推進委員と町安全安心課で行っているが、朝夕の通学パトロールは行っていない。有志の方に見守っていただいている(老人会等)

19区は自主防災会がパトロールをしているが、学校の下校時間のスケジュールに合わせて夕方のみで、朝は育成会が行っている

意見：大型台風19号に直撃され冠水があったが、これからも起こると思う。今回は北児童館に避難したが、すべての電灯がついた中で避難者が寝ていた。寝られる環境をつくるためにも、町もそのような状況をシミュレーションした対策を講ずるべき

まとめ：一般質問で要望、検証等取り組んでいる議員がいるため、経過を見守る

意見：避難所でのトイレが少なく、避難者が多くなれば足りなくなるが対策は

まとめ：避難所として、その対応は必要であり、今後町に要望していく

意見：利根川の中洲が昔と比べ上がっているのが、増水につながっているのではないかと、国交省へ働きかけてほしい。また、町も防災対策として、そういった部分を下げること考えてほしい

まとめ：他市町村と共同で県や国へ要望している。今回の台風を受け、その種の要望書を県に提出してある。監視カメラの設置についても予定されている

意見：洪水マップを見直してほしい。洪水想定区域にたくさんの人が住んでいるが、その人々をどう助けるか考えてほしい

まとめ：議会として精査しながら行政に伝えていくが、避難要請が出たら速やかに避難してほしい

(2)Bグループ テーマ「教育・福祉の向上について」

渡邊 明(コーディネーター)、山口 将、宮永万里子、川島 広、塚田義一

◎12月19日(木) 参加者数 5名

意見1:デマンド交通について意見が出された。内容は、高齢者ドライバーの運転免許自主返納や高齢者が増えている中、本町のデマンド交通「ほほえみ」の利用者数が多いか少ないかといえば少ない。家族の送迎がないと病院や買い物も出来ない。「交通弱者」への対応はどのように考えているのか?

意見2:乗降所が遠いので不便

意見3:予約制が面倒くさい

意見4:他の公共交通バスとの乗り継ぎが大変

まとめ:「交通弱者」と言われている高齢者や障害者の要望は「ドア・ツー・ドア方式」である。県内の自治体で、すでにテスト実験をしている高崎市や前橋市の経験を参考に大泉町も取り組んでほしいと考える

意見:「子どもたちのあいさつ運動」について、どのような教育と取り組みをしているか。あいさつをしない子どもが増えている

まとめ:「あいさつ運動」は、全町的に行っているが、学校等によって温度差があるようである。引き続き、積極的に推進してほしいと考える

意見:「こども食堂」について、貧困対策と若干違うのではないか

まとめ:積極的に取り組んでいる事業である。一定の成果をあげていることで理解を頂いた

◎12月23日(月) 参加者数 23名(内 大泉高校生 15名)

意見:外国籍の子どもの学力問題や共生について

まとめ:共生については、子ども同士で仲良くやっている。学力向上も長い目で見る必要がある

意見:英語教育について、小・中学生の時、もっと英語を勉強しておけば良かった

まとめ:小学校にも英語教育が導入されるが、大泉町も積極的に推進してほしいと考える

意見：放課後子ども教室について、現在は、北小学校区、東小学校区の2箇所であるが、南小学校区と西小学校区は、どのようになっているのか  
まとめ：要望中で、今後設置する予定である

意見：教職員の働き方改革について  
まとめ：ボランティアなども積極的に導入し、改革を進めてほしいと考える

意見：大泉町のサークル活動について、高校生や子どもたちが参加できるサークルやグループが大泉町にあるか、子どもたちが楽しめる場所を作ってほしいと考える  
まとめ：大泉町公民館利用サークル連絡協議会の活動内容を説明し、「公利連のしおり」を渡し理解を頂いた。大泉町としても積極的に場所づくりをしてほしいと考える

### (3)Cグループ テーマ「生活環境整備について」

青木 満(コーディネーター)、田邊信雄、佐藤久芳、澁木 茂

(12月19日はAグループが合流)

◎12月19日(木) 参加人数11名

意見：台風19号の浸水被害について、大泉町は被災者支援も迅速に行っていただいて感謝している。今回自宅が71センチの床上浸水となった。今後の冠水被害の対策は

まとめ1：七カ村用水路の拡幅、かさ上げを要望している。休泊川と七カ村用水路の分岐点に自動開閉の堰を設置する計画がある。八瀬川(太田市)の水もきてしまった。太田市との連携も今後必要。利根川の水門(太田市古戸)の開閉タイミングの問題があった。予算的なものもあるので国・県と連携して進めるしかない

まとめ2：県の施策で、ライブカメラを設置し常時監視する予定である。予算要望として提出している。一般質問のインターネット録画でも取り上げているので観てほしい

意見：「やっています。」ということは分かっています。対応の進捗状況は常に被災者に報告してあげてください。町長からの報告も必要

まとめ：利根川の水位が上がれば逆流防止のため水門を閉める。休泊川の整備や七カ村用水路の整備だけではどうにもならない。ポンプアップの容量アップなど、国も絡めた根本対策が必要である

意見：休泊川は非常に汚れている。いずみ橋付近の河川内の泥・草、ヘビも出る。町内の建設業者が来て清掃していたが、まだまだ綺麗になったとはいえない。県の管轄ではあるが、町から要望は出せないのか？泥の置き場もないとの話も聞いている

まとめ1：予算要望で出している。今回、このようなご意見をいただいたので、管理状況はどうなっているのか確認する

まとめ2：県土木事務所が確認に来ている。河川内の草は切ってもらおう要望をしている。土砂については、今後も要望をしていく

参考意見：川底のコンクリート形状により泥が溜まりやすい

意見：仙石の遊水池はどの程度の効果があるのか？今回の浸水ではどこからの水がきたのか？

まとめ1：仙石地区は被害が少なかったため遊水池の効果はあった

まとめ2：利根川の水門を閉めてしまうと水の行き場がなくなってしまう、どうしても浸水してしまう。消防自動車4台で排水したが今回は能力的に間に合っていなかった

意見：ハザードマップを確認したが、避難所としてパナソニックの体育館が記載されて現在は宅地になってしまっている

住吉地区はどこを避難所として考えていたらよいのか？

現状のハザードマップは更新されているのか？

まとめ：地域で決めている訳ではない。開設している自主避難所を確認して避難していただくようお願いしたい。ハザードマップは最新版で更新されている。安全・安心メールも活用してほしい

意見：古海地区の天神山開発事業、寄付した土地の境界線の土留め工事が不十分であった

公共工事の安全対策にかかる時間がかかりすぎる。町公民館の入り口の街灯を木が邪魔して暗くて見づらい。全般的にまとめて議会に提出する

まとめ1：この件に関しては執行部に確認して対応する

まとめ2：地元の区長さんに話して、相談してほしい

◎12月23日(月) 参加者数 20名(内 大泉高校生 11名)

意見: 町民の意見を確実に町に届けるには、どういった手順が一番効果的なのか?

まとめ1: 防犯灯などは区長さんへ、樹木の繁茂は議員の方が早いと思う

まとめ2: 区長さんと議員で連携して町に要望した事例があった。そのようなやり方がベストかと思う

意見: 防犯灯を付ける際の確認事項や、アパートの部屋の位置関係など町職員さんがよく対応してくれている。側溝なども対応が早い。感謝している

意見: ゴミステーション管理について、外国籍の方が分別して出してくれない。カラスが突いて酷い状況になってしまう。外国籍の方がどうも守れていない現状がある。47カ国もあればもっと対応したパンフレットがあってもよいのではないか?

転入時点での行政指導も大切ではないか?

まとめ1: ゴミステーション管理と、外国人転入時の指導の件は予算要望の中で要望している

まだまだ問題があるのは認識している。(戸別回収の案もある。神奈川県葉山町の例もあり)

まとめ2: ゴミステーションは町内で860カ所くらいあり、カメラ監視などは厳しい。各地域で監視体制に差があり、きれいな地域の方策を取り入れていくのもひとつの方法であると思う

## 10. 議員からの反省事項並びに感想

### ◎全体

○初めての試みが多く、評価できる

○大泉高校の生徒さんの参加で形が整った

○次回以降は高校生限定で実施すべき

○地域の公民館などに議員が出向いて報告会を実施してもよい

○昼と夜間、二回にわけたことが次につながり意味があった

○開催時期については、12月は年末などで何かと忙しい時期であり、今後は再検討すべきである

○年末に実施したことにより、その準備を含め議員の負担が大きく、参加者も少なかった

○なんといっても参加人数が少ない。開催日、時間、PR方法は要検討である

- 初日の参加者が少なかった(議員が声をかけたか疑問。2~3名連れてくるべきである)
- 女性が少ないのは大変残念
- 報告会実施状況は議会ホームページや広報誌にしっかりと掲載する

#### ◎報告会

- 議会の説明で委員会報告と重複する部分があったので、もっと簡潔な説明と分かりやすい資料にした方がよい
- 各委員会の報告も簡潔にし、常任委員会や議運・特別委員会は参加者からの質問を受け付けた方がよい

#### ◎意見交換会

- 初めての試みのグループディスカッション形式は、住民の声を聞くのに良かった
- テーマごとに分けての意見交換会は良かった
- グループディスカッション形式のやり方を、検討する必要がある
- グループテーマが大きすぎて具体的にしたい方がよい
- グループディスカッションはテーマを設けず、参加者人数や議員の割り振り数を考慮して、多くても10人程度のグループにした方がよい
- グループ分けするなら、常任委員会を単位とした2グループが妥当であり、3つのグループ分けには無理がある
- できればもう少し少ない人数のグループにして、多くの人の意見を聞けるようにしたい
- 一回目の意見交換会は1つのグループの参加者が0で、それを想定した担当議員の配分が事前に考慮されていなかったことは反省すべき
- 意見交換会の質問時間を設定していたが、回答も時間制限を設ければ良かった
- 進行役やタイムキーパーが時間管理をし、答弁者は明瞭簡潔に答えるべき
- 一問一答方式でよいが、5分程度で采配できるグループリーダーのスキルが必要
- 大泉町公民館での意見交換会時に隣のグループの声が混じり聞き取りづらかった
- 意見交換グループごとに会場分けが必要
- テーマ毎に意見交換を実施するのであれば、テーマごとに別室を設けた方がよい
- ディスカッションという言葉は、一般町民にとって馴染みのない言葉であり、座談会や意見交換会という表現の方が分かりやすい
- 意見交換会に参加してくれるターゲットを決める(区長・民生委員・育成会長・消防団)
- 一人一人の意見をもっと聞くことが出来るように工夫をするべき
- 名前と区を全員の参加者に自己紹介を兼ねて言った方がよい

## 11. まとめ

### 名称

町民に親しみある名称になった

### 開催時期

年末の気温の低い時期でなく、予算要望にも生かせる、初夏もしくは秋が妥当

### 開催回数

総数で100名程度の参加者が過去4回の実績としてあるので、小学校区に1箇所計4箇所で行ったほうが、より町民にきめ細かな報告会の開催もできる

### 開催場所

意見交換会で、グループ分けした場合のことを考慮し、声が混じらないような部屋を分けることのできる施設選定が必要

### 開催時間

今回は時期が悪く夜の参加者が少なかったが、仕事をされている参加者のことを考えると、昼と夜、両方の開催は必要

### 報告会

簡単な報告会の内容に関する質疑時間の検討が必要

### 意見交換会

グループ分けは、7~10名のグループになるように、委員会を2つに分けて、4グループが妥当と考える。テーマは委員会所管内の事項にし、ある程度絞ったテーマとする  
(様々な検討を要する また、高校生を別にするか否かも検討の余地あり)

### 広報方法

あらゆる手段を用いたが、町民への直接的なPRが足らなかった

### 全体

町民への報告パターンが、回数を重ねるごとに似たパターンになっているため工夫が必要。意見交換は初めての試みであったので、ある程度の評価を得たが、より良い意見交換となるための工夫が必要

## 12. 報告会資料 資料1 スライド版

## 13. アンケート結果 資料2 集計、円グラフ、町民からの感想・意見